OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学低温センターだより No.72 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1990, 72
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21169
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

〈編　集　後　記〉

本号は、物質の極限にせまるニュートリノの研究、物質の超高圧相のX線回析、固体表面と励起ビームとの相互作用、爆発接合継手の極低温での強度、さらにはフーリエ干渉分光器の試作と、著名な先生方の最先端の情報を掲載することができました。先生方にはご多用中にも拘らず「低温センターだより」への寄稿をご快諾頂いて、いつもながら感謝致しております。内容が盛りだくさんになっていて、本来の「低温」と“直接”関係があるものは爆発接合に関する研究ノートのみですが、研究を遂行する上での問題解決という観点からはもちろん共通点は多くあるわけです。必要な信号をバックグランド信号（含ノイズ）の中から如何に効率よく選択的に抽出するかということが、データの信頼性を高め、新たな知見を得ることができる、決定的要因であることが、改めて認識されます。そのためには、対象に関わる物理をよく知ることも必要不可欠でしょう。この観点から見ると本号では、汎用放射線測定器の開発、超高圧下での試料の加熱とX線回析の測定方法の開発、表面における選択性の物理、等が、優れた研究成果を生む源になっているのがわかります。光励起下での遠赤外スペクトルの高効率測定に対してもよい結果が期待でき、号を改めてその結果を寄稿して頂きたいものです。さて我が身を振り返って見ると、何とも浅学の身、日夜勤しみ工夫を重ねることにより、満足できる研究成果が少しでもでるように努力しなければと、自責の念に捕らわれている次第です。

（伊藤利道）

大阪大学低温センターだより　第７２号

平成２年１０月　発行

編集責任者　櫛　田　孝　司

発　行　者　大阪大学低温センター

吹田分室　大阪府吹田市山田丘２番１号

電話（06）877－5111　内線4105

豊中分室　大阪府豊中市待兼山町１番１号

電話（06）844－1151　内線2162

印　刷　所　阪東印刷紙器工業所

大阪市福島区玉川３丁目６番４号

電話（06）443－0936（代表）

目　　次

No. 72

研究ノート

最近の固体表面の研究から—ビーム近藤効果……基礎工学部　吉森　昭夫 …… 1

TiO_2の高圧相
—高温・高圧下のX線回折—……極限物質研究センター　遠藤　将一 …… 5

爆発接合継手の極低温強度……工　学　部　西村　新 向井　喜彦 ……10

二重ベータ崩壊測定によるニュートリノの研究……理　学　部　嶋　達志 ……15

実験メモ

マイケルソン型フーリエ干渉分光器試作の記……工　学　部　服部　武志 ……19

表紙説明：八面体圧力媒体中にセットされた試料とヒーター